

秋月×中津×武雄 特別交流展

伝染病と闘う

種痘の導入と武雄領の医学



重要文化財「顕微鏡」

(武雄銅島家資料、武雄市蔵)

傳苗圖



「種痘法則」より種苗図ほか(武雄市蔵)

秋月、中津、そして武雄。

古くから人々に恐れられてきた伝染病「天然痘」を予防するため、「種痘」つまりワクチンを先進的に導入した地域です。

新型コロナウイルス感染症と闘う

今、天然痘との闘いの歴史を

紹介します。

令和4年

1/29 土 - 2/27 日

主催/開催場所

武雄市図書館・歴史資料館

蘭学・企画展示室

開館時間

日~木 9時-18時 金・土 9時-21時

〒843-0022 佐賀県武雄市武雄町大字武雄5304-1 …… TEL.0954-28-9105

ギャラリートーク 2月6日[日]・12日[土]・20日[日] 14:00~

観覧無料
会期中無休

特別講演

人類が唯一撲滅に成功した天然痘。その闘いの歴史に迫る。

「人痘から牛痘へー予防接種の夜明けについて」

講師 ヴォルフガング・ミヒエル氏 九州大学名誉教授

「牛痘伝来と佐賀の医師たち」

講師 青木歳幸氏 佐賀大学地域学歴史文化研究センター 特命教授

場所 武雄市図書館・歴史資料館 メディアホール

定員 各日40名(要事前申込・先着順 令和4年1月12日より受付開始)

お問い合わせ/イベント申込先

歴史資料係 TEL.0954-28-9105 (受付時間:火~日曜日 9:00~17:00)

※新型コロナウイルスの感染状況によっては、イベントを変更・中止する可能性があります。



種痘器具(武雄市蔵)

闘いの舞台は、九州だ

交流機関◎朝倉市秋月博物館、中津市歴史博物館(五十音順)



伝染病と闘う

種痘の導入と武雄領の医学

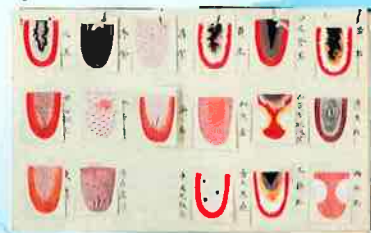
国重要文化財「種痘新論」
〔武雄鍋島家資料、武雄市蔵〕



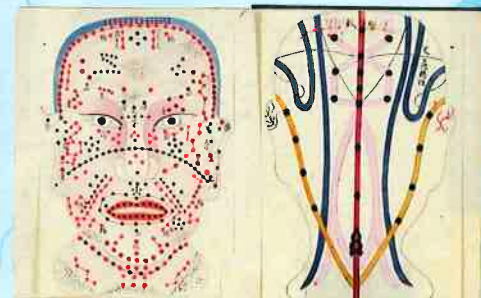
秋月

中津

中津市指定有形文化財
〔池田流痘疹唇舌鑑圖〕〔中津市蔵〕



〔緒方春朝肖像画写真〕〔個人蔵〕



武雄

佐賀

〔直正公嗣子淳一郎君種痘之図〕
〔佐賀県医療センター好生館蔵／佐賀県立佐賀城本丸歴史館寄託〕



長崎



〔牛痘小考〕〔長崎歴史文化博物館蔵〕

MAP



わたしたちの暮らしに大きな影響を与えた新型コロナウイルス感染症 (COVID-19)。その対策としてワクチン接種が推奨され、免疫獲得に向けた動きが加速しています。

われわれ人類は古くから感染症に苦しめられてきました。その最たるものが天然痘です。アフリカ由来と言われる天然痘は、中国を経由して日本に伝わり、たびたび大流行しました。感染力が非常に強く死に至ることもある疫病に対し、人々は神に救いを求め、よりよい治療法を追い求めました。

一方、天然痘に一度罹って治ると、再び罹らないということは知られていました。そのため、健康な人を軽度な天然痘に罹らせる「種痘」がおこなわれました。秋月の緒方春朝は、中国から伝わった「人痘法」を独自に改良し、多くの人に種痘をおこないました。

1796年、人痘法より安全な「牛痘法」が発明されると、瞬く間に世界に広がり、やがて日本にもやってきます。日本で初めて牛痘種痘を成功させたのは、佐賀藩医の榎林宗建でした。牛痘種痘のワクチンである「牛痘苗」は、蘭学者たちのネットワークにより全国各地へと伝わり、武雄領医の中村涼庵も長崎へ牛痘種痘を学びに行きました。佐賀では、藩主鍋島直正の子息淳一郎(後の鍋島直大)への接種を成功させるなど、藩内での種痘実施を推し進めました。「解体新書」で著名な前野良沢が登場するなど、早くから西洋医学に関心を寄せていた中津では、当時の種痘事業に関する資料が多く残されています。

1980年、WHOは天然痘撲滅宣言を出し、天然痘は人類が初めて撲滅に成功した感染症となりました。そして、新型コロナウイルスの脅威に晒されている今、わたしたちが感染症に向き合うきっかけとして、本展覧会を開催します。

武雄市図書館・歴史資料館

〒843-0022 佐賀県武雄市武雄町大字武雄5304-1
TEL.0954-28-9105 FAX.0954-28-9205
E-mail: epochal@city.takeo.lg.jp

<http://www.city.takeo.lg.jp/rekisi/his-top.html>

